

力作メニューが登場！

茨城県教育委員会主催で行われた「つくろう料理コンテスト」で、^{たみやひびき}田宮響さん（岩間三小6年）が最優秀賞を受賞し、食育の日である9月19日（金）に県庁内食堂「カフェテリアひばり」でこのメニューが限定販売されました。

メニューは、ゆかりと白ごまのおにぎりをはじめとする5品。ヘルシーでバランスのとれた献立です。

お客さんからは「塩分が控えめでおいしい。小学生ならではの発想力豊かな献立に毎年期待しています。」と好評でした。田宮さんは、「朝ごはんのメニューを考えて、改めてその大切さを学びました。今度はデザートにもチャレンジしたい。」とこれからの抱負を語りました。



受賞した田宮さん



「茨城県産ヘルシー美味しい朝ごはん」

祝・長寿 いつまでも健やかに

9月10日（水）、11日（木）敬老の日を前に山口市長が市内の100歳達成者および最高齢者を訪問し、長寿を祝い、ほう状と記念品を贈りました。

今年度は19名の方が100歳を迎え、市長が一人ひとりに「おめでとうございます。これからもお元気で長生きしてください。」とお祝いの言葉をかけると、皆さん笑顔で応え、お元気な様子でした。

また、最高齢者は、9月15日の敬老の日で106歳の誕生日を迎えた^{はせがわすい}長谷川すいさん（押辺）で、山口市長から最高齢者の祝状と記念品を、県内の長寿者に肖像画を贈呈するボランティアをされている肖像画家の^{さかよししょうき}酒寄翔麒さんから肖像画が贈られました。



祝状、肖像画を受け取る長谷川さん

農業を支える若い力

常陸農業協同組合の営農販売課で働く^{まえざわまさひこ}前澤昌彦さん（29歳）と^{こだまともき}児玉知樹さん（24歳）は、小菊の営農指導を担当し、定年帰農された方を中心とする新規農業者に小菊の栽培から販売までを教えています。

小菊は観賞用として栽培され、主に京浜市場に出荷しています。笠間市はニーズへの対応力や品質の高さが評価され、9月22日（月）に合併後5度目の「花き銘柄産地指定」を受けました。

児玉さんは、「農家の方の生活を預かる、責任ある仕事。笠間は県内でも大きな産地なので、栽培がこれからも続くよう緊張感をもって業務に励みたいです。」と自らの仕事について語っていました。これからの小菊栽培を担う若い力に期待です。



左から前澤さん、児玉さん

